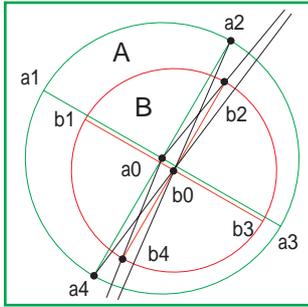


c2

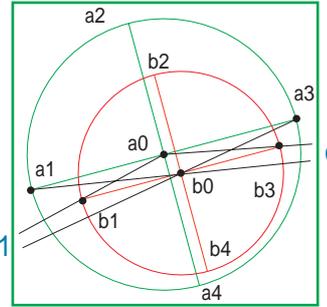


c4 pronity36/27/108

< プロニティーの関係にある3つの円 >

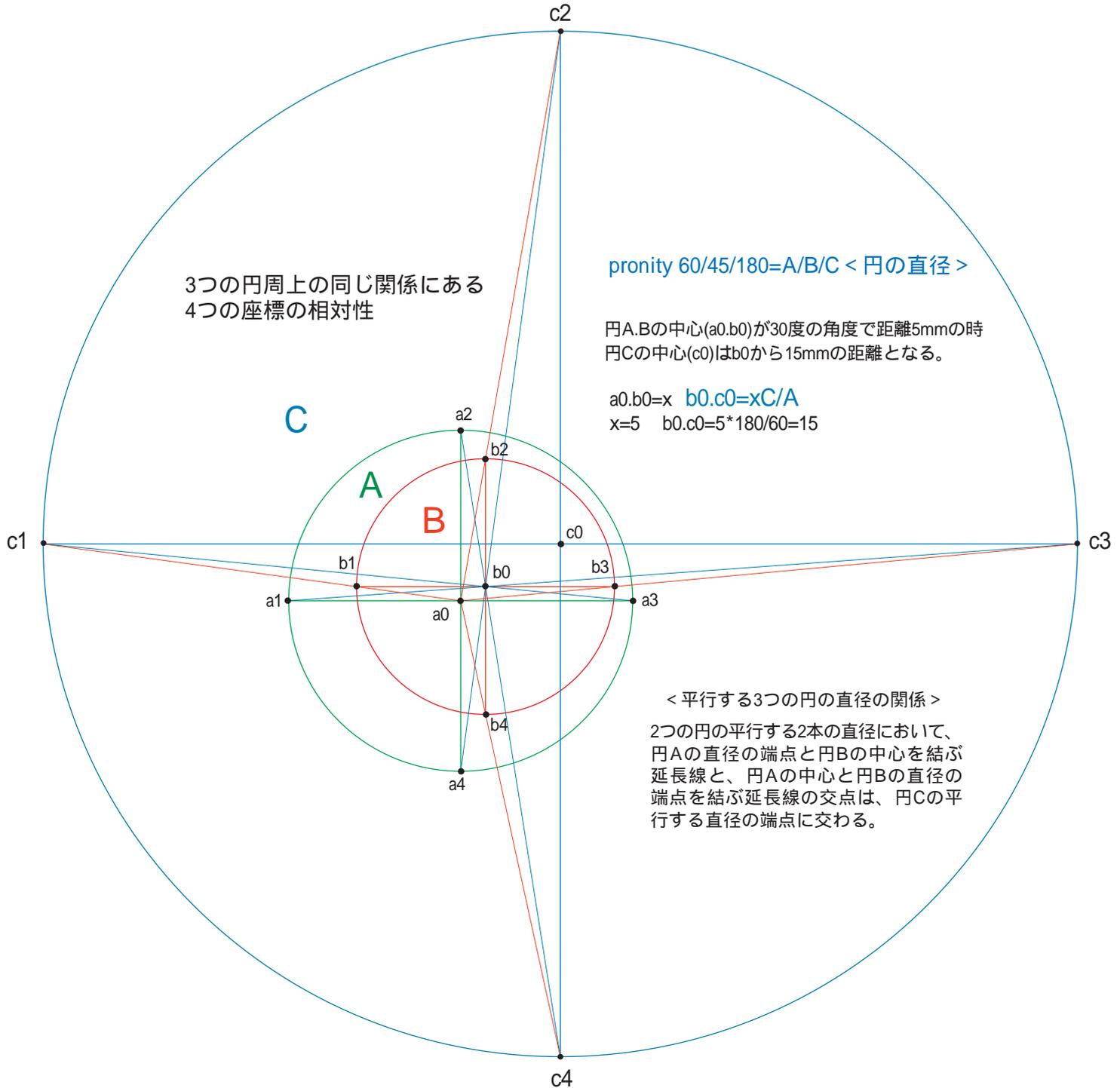
2つの円A中心とBの直径の端点を結ぶ線は円Cの円周上で交わる

円Aの中心a0から、円Bの円周上の点、直交する2本の直径の端点(b1.b2.b3.b4)を通る直線を延長し、同様に円Aの円周上の4点(a1.a2.a3.a4)から円Bの中心を通る直線の延長線を求める。それぞれ2本ずつ4方向に交わる交点(c1.c2.c3.c4)は、円A.Bに対してプロニティーの比を持った円Cの円周上の点である。即ち、円A.Bの相対する座標を結ぶことから得られる円Cの座標は、円A.Bに相対する。



c3

pronty36/27/108



3つの円周上の同じ関係にある  
4つの座標の相対性

pronty 60/45/180=A/B/C < 円の直径 >

円A.Bの中心(a0.b0)が30度の角度で距離5mmの時  
円Cの中心(c0)はb0から15mmの距離となる。

$$a0.b0=x \quad b0.c0=xC/A$$

$$x=5 \quad b0.c0=5*180/60=15$$

< 平行する3つの円の直径の関係 >

2つの円の平行する2本の直径において、  
円Aの直径の端点と円Bの中心を結ぶ  
延長線と、円Aの中心と円Bの直径の  
端点を結ぶ延長線の交点は、円Cの平  
行する直径の端点に交わる。

プロニティーの関係にある3つの円の円周上の座標は相対的に結ばれる。